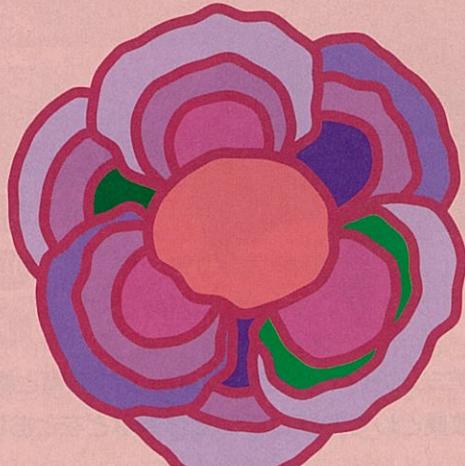


# Moving

vol. 65

- 特集 ①ムーブフェスタ2011 事業報告  
②地元北九州で活躍する働き女子



- ムーブフェスタ2011事業報告
- 誌上講座  
「日本の次世代リーダー」第2回  
加藤暁子(日本の次世代リーダー養成塾 事務局長)
- 地元北九州で活躍する働き女子
- 開講講座案内
- ムーブ利用のご案内
- お知らせ



# 地元北九州で活躍する働き

CAREER



## (有)ゼムケンサービス 代表取締役

こもりた じゅんこ  
籠田 淳子さん

一級建築士、インテリアプランナー、商業施設士  
北九州市開発審査委員、公共事業評価委員他

### 有限会社 ゼムケンサービス

住所 北九州市小倉北区片野3-7-4

TEL 093-931-0301

URL <http://www.zmken.co.jp>

### 起業しようと思った理由について

両親が建設会社を経営し、幼い頃から自然に建設の世界になじんでいました。ところが私が建築の道に進もうとする父に反対されました。当時は男性主体の業界で、特に現場では女性が仕事をするには負(マイナス)の部分が多くたからだと思います。しかし、実際は職人さんやお客様から「雰囲気がよくなった」「女性だと注文も言いやすい」と容認される部分もあり、建設業界には女性の感性や能力が必要だと確信しそれを始動させました。

### 事業内容について

店舗、住宅、公共工事などの企画・設計・施行までをトータルプロデュースする一級建築士事務所であり建設業です。

ケーキショップ、美容室など女性をターゲットにした施設・店舗を多く手掛けています。今後は、女性の視点を生かして、クリニックや社員もお世話になっている保育所、介護施設などを手掛けていきたいと思っています。

### 女性を多く採用している理由について

特に女性を多く採用して女性の建設会社にしようと思ったわけではありません。ただ、建設業には女性の力や才能が必要だという使命感があります。資格や才能を持っていても生かせない女性にチャンスを与えるのも経営者の仕事だと思います。

### ワークシェアリングを実施されていると伺いましたが、実施するに至った経緯などについて

起業してから3年間は1人で設計・営業をしていました。忙しくなり、社員の募集をしたところ、子育て中のためフルタイム勤務はできないという理由で、圧倒的にパート勤務希望者が多く驚きました。建築業界は古い考え方しきたりもあったり、お客様の都合に合わせるので、時間を切るのは難しいです。しかし、私自身が従来の建設会社の経営者の考えに陥っていることに気付き、私が経営者なのだから女性が働きやすい雇用形態があってもよいのではないかと考えました。

そこで2人で1人分の仕事をする、時間を分けるのではなく、仕事を分けるシェアリングを取り入れ裁量労働制にしました。

誰でも働きやすくするために、就業規則や細かい仕事のマニュアルなどを作成しました。社内のコミュニケーションを図るため、イントラを整備し業務連絡を密にとるようにしました。

また、パート社員も大切な会社の一員であるという自覚を持つように、就業規則や業務手順などを網羅した社員手帳を作成し全員に配布しています。



社員手帳

### 仕事に対する考え方や会社について

基本的に経営者は24時間仕事だと思っています。建築の仕事は人の命や健康に関わる仕事ですから、命の尊厳や家族を大切にしています。妻、母、娘それぞれの立場で気付いたことすべては建築の仕事に役立てています。

会社には、社員の子どもも学校から帰ってきます。これは、子どもに親の職場を見つめられる絶好の機会です。仕事をしているお母さん、お父さんはカッコいいと思ってもらいたいです。我が子も含めて社員の子どもはみんなZ'mkenの子どもです。子どもの笑い声が響きあう職場イベントを開催しています。学校、地域への貢献も大切な仕事だと考えていますから、就業規則に学校の保護者会の役員をすることを盛り込みました。私をはじめ子どもがいる社員は全員保護者会の役員をしています。たとえ就業時間中でも役員会には出席することにしています。

私の息抜きは大好きな旅行です。最近は子どもと一緒に海外に行っています。家族一緒にご飯を食べることも大切にしています。

平成21年に北九州市のワーク・ライフ・バランス表彰の個人部門を夫婦で受賞しました。次は企業部門で受賞できるよう頑張っていくつもりです。

私にとって仕事とは、好きなことをしてお金もいただける、おもしろいこと、夢、生命の輝きです。

### 男女共同参画をすすめるうえでの企業の役割について

まず、経営者の意識改革が必要だと思います。私自身、小さい子どもがいる女性は働けないのでと思っていた経緯があります。もちろん今はそんなことは全然思いません。女性、男性を問わず個人の才能や得意分野を生かすことで会社が発展し、ひいては男女共同参画が進むのではと思います。

社員には、仕事を続けるために育児休暇は取ってもらっています。もちろん男性社員にも育児休暇を取ることを奨励しています。

### 仕事をしている女性への応援メッセージ

変化を受け入れられる環境をつくりましょう。夢をあきらめずに輝いて欲しいです。

私たちは自由です。



壁塗りもします!